

B 個別学習（B 1）

主な学習活動

日常の授業における個別の習熟度や学習スピードに応じた活動。

1 本時のねらい

教科書本文の意味を理解し、内容を考えながら音読することができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

タブレット

PDFファイル

デジタル教科書

ヘッドフォン

4択問題作成アプリ Kahoot!

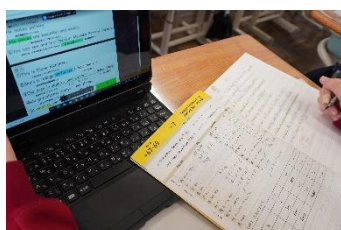
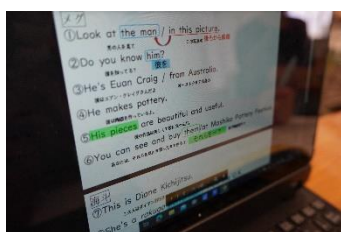
3 参考にしてほしいポイント

あらかじめ、Google classroomに教員の作成したノート例（板書の代わり）を送信しておき、生徒達はそれを確認しながらノート作りを行う。ノート作りが終わった生徒はデジタル教科書の音声ヘッドフォンを使用して聴き、授業後半の音読がスムーズに行くよう準備を行う。また、発音確認が十分となった生徒は復習の4択問題に取り組む。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	教科書本文の内容を理解する。	- Classroom内のPDFを見て、ノート作りを行うことで文構造を理解する。 - 意味を考えながら音読ができるよう、教科書の範読音声をタブレットで確認する。 - ドリル問題を事前に準備しておくことで、習熟度に合わせた時間の使い方を可能にする。

タブレット

+

PDF
ファイル

タブレット

+

デジタル教科
書・ヘッドフォン
・Kahoot!**4 活用効果**

板書のノートをあらかじめPDFにして配布することにより、時間効率を上げることができた。また、学習者用デジタル教科書の活用や、アプリの使用により、習熟度に応じた課題に取り組んで、上位生徒の向上意欲や下位生徒への個別指導の時間の確保などを行うことができた。